

UNIVERSITY CONSORTIUM KYOTO

No.42
2012.4



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto
URL <http://www.consortium.or.jp>

特集1

京都精華大学の新たな挑戦
音楽とファッションを学ぶ新学部を開設

特集2

池坊短期大学国際文化交流
～五感で学ぶオーストラリアのもてなし文化～

特集3

第10回京都学生祭典 向島実行委員長
「想いと未来の「糸」を紡ぐ」



2013年、京都精華大学の新たな挑戦。

—ポピュラーカルチャー学部、イラスト学科を開設、マンガ学部を改編—

2013年4月、京都精華大学は教学改革を実施します。

新たにポピュラーカルチャー学部を開設するほか、

デザイン学部にはイラスト学科を開設、

マンガ学部に新しく2コースを設置する予定です。

既存の芸術、デザイン、マンガ、人文学部とあわせて

5学部体制になり、「表現の大学」として、

さらなる進化を遂げていきます。



ポピュラーカルチャー学部 (2013年4月設置予定 / 構想中)

音楽とファッションを学ぶ新学部が誕生

京都精華大学5つ目の学部として、「ポピュラーカルチャー学部」が誕生します。「音楽コース」と「ファッションコース」の2コース編成で、入学定員は118名。ポピュラー音楽とファッションを学ぶ新しい学部です。

マンガ、アニメ、音楽、ファッションなど「ポピュラーカルチャー」として括られる領域の中でも、とりわけ音楽とファッションは、若い世代にとって自分の世界観やアイデンティティの形成に深くつながる領域です。また、国際的にも「クールジャパン」として大きな注目を集めており、日本が誇る高い文化的価値を持つ分野。そこで、京都精華大学は、社会的、文化的に大きな意義を持つ「音楽」「ファッション」の2領域を教育研究分野として確立することに、日本の大学として初めて取り組みます。

ポピュラーカルチャーは、広く社会に受容、流通される性質のもの。新学部では、つくる技術の修得に加えて、現代社会とそこに生きる人間についての理論的考察も行います。京都精華大学ポピュラーカルチャー学部では、単なる技術者育成にとどまらない、新しい文化を創造するクリエイターを養成します。

音楽コース

音楽コースでは、ポップス、ロック、クラブミュージックなどのポピュラー音楽に取り組みます。新しい時代に対応し、さらに新しい音楽シーンを創造するクリエイターを育成。スタジオでの演奏や、デジタル技術を使った作曲はもちろん、市場やメディア、ビジネスモデルについての知識など、理論面からも音楽を学びます。音楽を人に届けるために、イベントの実施、レーベル開設、Webサイトでの配信など、さまざまなメディアを使って実際に企画・発信し、結果を分析します。また、京都独自の音楽シーンをつくってきたライブハウスへのフィールドワークや、インターンシップも予定しています。

卒業後の進路は、ミュージシャン、ソングライター、サウンドデザイナー、音楽プロデューサー、音楽ライター、音楽サイトや雑誌編集者などを想定しています。

ファッションコース

ファッションコースでは、ファッションで世界を変革する、そんな可能性をもったファッションデザイナーを育てます。服づくりの技術習得に加え、ファッションの歴史、マーケットやビジネスモデル、情報発信、ファッション批評についても学びます。実際にファッションショーをプロデュースするプロジェクトや、服のデザインからブランド設立までを体験する授業も実施します。

卒業後の進路は、ファッションデザイナー、アパレルブランドプロデューサー、スタイリスト、ファッションサイトや雑誌編集者、ショー・イベントプロデューサーなどを想定しています。

デザイン学部イラスト学科を開設(2013年4月設置予定／構想中)

コミックイラストから現代アートまで、「イラスト」が指す領域の拡大に対応するため、デザイン学部イラスト学科を開設します。入学定員は64名。イラストコースの1コース制です。

1・2年生では「手で描く」ことを中心に基礎をしっかりと固めます。3年生からは自分の将来を視野に入れて「イラスト&ブックス」「アート&デザイン」の2クラスに分かれ、より専門性の高いカリキュラムに取り組みます。

「イラスト&ブックス」クラスでは「手で描く」ことをベースに、雑誌、広告、ポスター、絵本、Webなどさまざまなメディアで自分の表現を発信し、社会とのコミュニケーションのあり方を探ります。将来像としては、イラストレーター、絵本作家のほか、グラフィックデザイナー、広告デザイナー、エディトリアルデザイナーなどの進路を想定しています。

「アート&デザイン」クラスでは、同じく「手で描く」ことを基本としながら、写真、コラージュなどの技法や、コンピュータによる加工などを駆使して、現代美術からグラフィックデザインまで、多様な領域を横断する先進的な表現を追求していきます。進路としては、ビジュアルアーティスト、Webデザイナー、アートディレクターなどを目指します。



マンガ学部「ギャグマンガコース」「キャラクターデザインコース」を開設 (2013年4月設置予定／構想中)

現代のマンガコンテンツを生み出すすべての人材を育成するために、マンガ学部新たに「ギャグマンガ」「キャラクターデザイン」を学ぶ2つのコースを開設します。

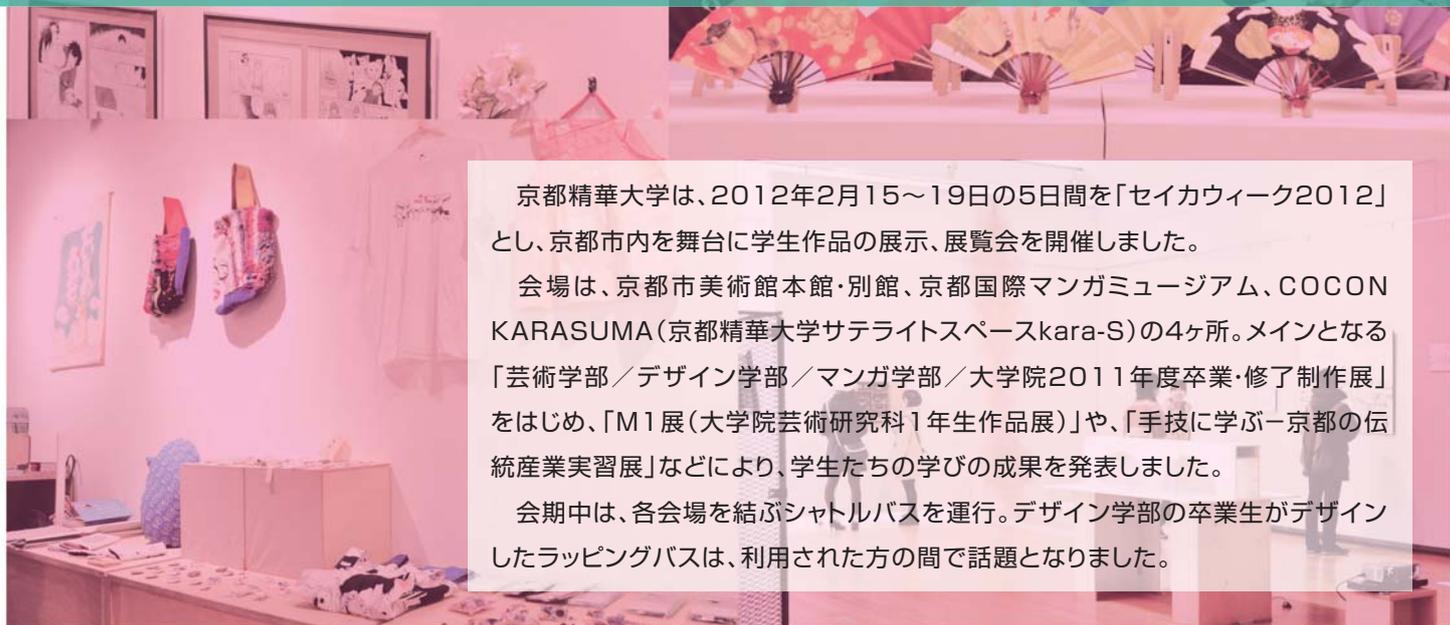
ギャグマンガコースは、「笑わせる」というマンガの原点に立ち返り、作画力のほか、発想力や、アイデアをかたちにする構成力を磨きます。そのため、漫才やコントを分析することから「笑い」の構造を学ぶと同時に、マンガを中心に文章でもアイデアを作品として表現する力を身につけます。また、ソーシャルメディア、動画サイトなど、マンガ作品の発表の場が拡大している時代に対応するため、あらゆるメディアを使いこなす「発表力」を身につける必要性も。学生自らコース公式Webサイトを立ち上げ、笑いを目的とした作品(マンガ、文章、動画など)を広く社会に発信していきます。卒業後の進路としてはマンガ家はもちろん、マンガ原作者、放送作家、CMディレクターなどを想定しています。

キャラクターデザインコースでは、絵を描く技術はもちろん、キャラクターデザインの発想や、作品をどうビジネスとして展開していくかまで学びます。最初は手を動かして繰り返し描くことを基本とし、同時にさまざまな描画ソフトを使いこなす技術も習得。ネット時代に対応するため、スマートフォンやタブレット端末を想定したコンテンツ作画技術も磨いていきます。また、人気キャラクターが生み出される背景やその要素などから、「売れる」キャラクターづくりの手法を学び、自分のキャラクターをどのような商品にするかといった商品企画力も育成します。卒業後はキャラクターデザイナー、イラストレーター、ゲームデザイナーなどの進路を想定しています。



「セイカウィーク2012」を開催しました

— 京都のまちを京都精華大学の学生作品で埋める5日間 —



京都精華大学は、2012年2月15～19日の5日間を「セイカウィーク2012」とし、京都市内を舞台に学生作品の展示、展覧会を開催しました。

会場は、京都市美術館本館・別館、京都国際マンガミュージアム、COCON KARASUMA(京都精華大学サテライトスペースkara-S)の4ヶ所。メインとなる「芸術学部／デザイン学部／マンガ学部／大学院2011年度卒業・修了制作展」をはじめ、「M1展(大学院芸術研究科1年生作品展)」や、「手技に学ぶ—京都の伝統産業実習展」などにより、学生たちの学びの成果を発表しました。

会期中は、各会場を結ぶシャトルバスを運行。デザイン学部の卒業生がデザインしたラッピングバスは、利用された方々の間で話題となりました。

京都市美術館 本館

芸術学部・デザイン学部／芸術研究科・デザイン研究科 卒業・修了制作展

京都市美術館本館では、芸術学部、デザイン学部、大学院芸術研究科、デザイン研究科の卒業・修了制作作品を展示。絵画、オブジェ、映像、インスタレーションなど、さまざまな形態の作品展示のほか、作品講評会、学生による展示作品の解説などを行い、会期中には、約5,000人に来場いただきました。また、昨年度より導入したニンテンドーDS^(*)による音声ガイドを、今年度は対象となる学部、コースを拡大。制作者本人による作品解説を聴きながら鑑賞を楽しむことができました。

*ニンテンドーDSは任天堂の登録商品です。



マンガ学部／マンガ研究科 卒業・修了制作展

京都国際マンガミュージアムでは、マンガ学部、大学院マンガ研究科の卒業・修了制作展を開催。ストーリーマンガやカートゥーン(風刺画)マンガの展示のほか、アニメーション作品のパネル展示と優秀作品の上映会、小説、マンガ原作、映像、iPadを使った作品など、約200点の作品が並び、「マンガ」表現の幅広さを実感できる展示となっていました。

また、今年は学生による子ども向けワークショップや、教員の講義なども開催し、来場者は5日間で約8,000人となりました。



京都市美術館 別館

手技に学ぶ 京都の伝統産業実習展

伝統工芸・産業の現場で学ぶ授業「京都の伝統産業実習」に参加した学生が実習で制作した作品と、実習先の概要を紹介。また、祇園祭「観天神山」の懸装品とその復元、新調に関わる資料の展示も行いました。

M1展

大学院芸術研究科、デザイン研究科の1年生による作品展。大学院の授業を担当しているキュレーターの長谷川祐子氏が展覧会のキュレーションを行いました。



COCON KARASUMA [kara-S]

イタリアコラボ展

プロダクトデザイン学科、建築学科とイタリアのメーカー・mesa社との産学連携プロジェクトにおいて制作した学生作品を展示。「テーブルウェア」をテーマに食器や照明器具などをデザイン、mesa社に選ばれた優秀作品のプロトタイプも展示しました。

せいかのおみせ

「セイカウィーク2012」の卒業制作展に出品している学生作家による作品、グッズを販売。陶芸コース、テキスタイルコース、版画コースなどの学生が、自分で制作したアクセサリや雑貨などを販売しました。



インターンシップ・プログラム

自ら動く。自ら学ぶ。新しい自分を発見!

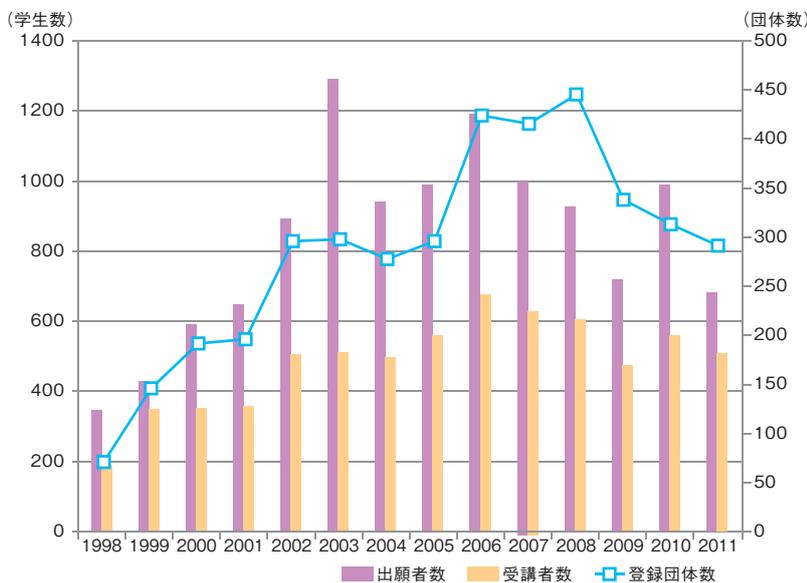
～今だから、学生だからできること～



公益財団法人 大学コンソーシアム京都が窓口となって実施するインターンシップ・プログラムは、全国に先駆けて1998年度から本格的に導入され、15年目を迎えます。

一般的にインターンシップとは、「学生が在学中に企業や行政機関等において、正社員・正職員に準じる立場で就業体験を行う」ものです。その中でも、本財団が窓口となって実施するインターンシップ・プログラムは、就職活動としての、また企業の採用活動としてのプログラムではなく、大学における学びの一環として位置づけ、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした教育プログラム(コオプ教育)です。

インターンシップに参加し実社会を体験することで、「働く」ということ、「仕事」というものを理解することができ、大学での学習内容や自らの専門分野が実社会でどのような意味を持つのかを確認し、その後の大学での学びや学生生活の充実に結びつけることが期待されます。



大学コンソーシアム京都の インターンシップ・プログラムの特徴

特徴1 京都地域のすべての大学・短期大学が対象

本財団が窓口となって実施するインターンシップ・プログラムの最大の特徴は、京都地域の大学・短期大学から、学部、学年が異なるさまざまな学生が参加することです。多様な価値観にふれ、同じ目的をもつ多くの仲間と出会い、他大学の学生と交流を図ることができます。

特徴2 実習だけではない充実した事前学習・事後学習

単なる就業体験ではなく、15人程度のゼミクラスでの事前学習・事後学習を行います。各クラスを担当するコーディネーター（加盟大学・短期大学の教員）の指導のもと、事前学習では、ディスカッション等を通して、業界研究や自らの考え、実習に対する目的意識を深めるとともに、ビジネスマナー講習・リスクマネジメント講習などを受講します。また、事後学習では、実習を振り返り、実習で気づいたことや得たことなどを意見交換しながら、今後の学生生活の目標設定を行います。

特徴3 10年以上の豊富な実績でサポート

これまでの14年間に延べ3,900を超える受入れ先の協力のもと、約6,800名の修了生を送り出してきた実績は、現在のインターンシップ・プログラムに大きく活かされています。

コースの概要

プロジェクト参画

長期プロジェクト型

プログレスコース

6月～11月の約6ヶ月間、
受入れ先が提示したテーマに沿って
プロジェクト型のインターンシップを行う

対象 大学コンソーシアム京都
加盟大学・短期大学・大学院の正規学生

実社会で自分試し

短期実践型(夏期)

ビジネスコース パブリックコース

企業、行政機関・非営利組織等において、
8月中旬～9月中旬の間に
2週間～1ヶ月程度の実習を行う

対象 大学コンソーシアム京都
加盟大学・短期大学・大学院の正規学生

日常生活からキャリアを考える

単位互換科目

プレ・インターンシップ講座

「働く」とはどういうことかについて
日常生活を通して考えていく、
大学コンソーシアム京都の“単位互換科目”
科目名「インターンシップ入門」
(同志社大学)

対象 大学コンソーシアム京都単位互換
包括協定参加大学の大学1、2年次生、
短期大学1、2年次生

お問い合わせ連絡先

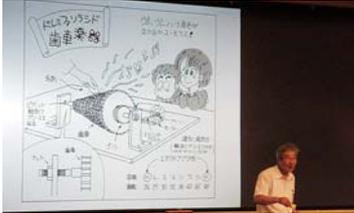
公益財団法人 大学コンソーシアム京都 インターンシップ事業推進室
電話:075-353-9106(9:00～17:00/月曜日は休館です)

単位互換を利用して

① 単位互換制度を知っていますか？

単位互換制度とは、他大学が開講する科目を履修し、修得した単位が所属大学の単位として認定される制度です。大学コンソーシアム京都では、51の大学が一同に協定を締結し、制度を運営しており、日本で最大の規模です。

所属大学にはない分野を学びたい、他の大学で授業を受けたいなど様々な動機で多くの学生が履修しています。新しい発見や出会いがある単位互換制度を利用してみてください。



② 京都はひとつのキャンパス(学べる場所は京都全域です)

単位互換の科目は、各大学で行われる科目(オンキャンパス科目)はもちろん、京都駅前のキャンパスプラザ京都で開講される科目(プラザ科目)、学ぶ時間・場所を問わないeラーニング科目があります。京都のあちこちで講義は受けられますから、自分の履修計画から科目選択を行うことも可能です。



③ 募集ガイドを確認しよう

単位互換包括協定に参加している51大学に在籍する学生は、所属大学の定める範囲において、出願資格があります。まずは、『単位互換履修生募集ガイド』を所属大学で入手もしくは、大学コンソーシアム京都のHPよりeBOOKにて確認してください。

出願登録の時期、単位認定が可能な科目の種類、単位数(登録・認定)の上限などは、所属大学によって異なりますので、詳細は所属大学教務担当窓口や履修ガイダンスなどで確認をしてください。



作:立命館大学 富田梨羅

<作品の説明>

知識の1つ1つを星の輝きに例え、何を学びそれをどうつないでいくかでその人自身が出来上がっていくということを表現しました。大学コンソーシアム京都に参加することは同級生と別の勉強をするということ、つまり他の人とは違う輝きを手にすることが出来るということだと考えます。「点と点を繋げる」というのは先日他界したスティーブ・ジョブズの言葉で、そこからヒントを得ました。裏表紙の門は、門出の門をイメージし、それぞれが得た輝きがそれぞれの門出の門をかたち作ることを表しています。色々な可能性に挑戦することで、自分だけのとっておきの星座を作っていってほしいという願いを込め描きました。

■ 2011年度提供科目・履修者数等

包括協定大学数	提供科目数	出願者数	履修者数
49大学	561科目	6,030名	5,643名

■ 2012年度提供科目分類内訳

単位互換科目はA~Jの10分類にテーマ分けして、科目を提供しています。

	テーマ	提供科目数	プラザ科目	オンキャンパス科目	eラーニング科目
A	京都を探る	20	9	11	0
B	歴史と文化に触れる	88	14	72	2
C	美の世界に触れる	52	5	47	0
D	文学の世界に触れる	20	1	18	1
E	ことばの魅力をを知る	51	13	37	1
F	いのちと人間を考える	69	11	57	1
G	教育とは…何だろう	31	5	26	0
H	自然に学ぶ	46	5	40	1
I	環境と暮らしを考える	46	4	42	0
J	現代社会を知る・考える	124	14	102	8
	合計	547	81	452	14

④ 単位互換制度の特徴ある科目を紹介!

500を超える科目からどの科目を履修すればよいかわからないという皆さんのために、特徴ある科目をピックアップします。

低年次生受講推奨科目

低年次生受講推奨科目は、単位互換制度が低年次生にとっても魅力あるものとなるよう、ニーズの高い科目を特定講時に集中して開講するものです。

具体的な開講テーマについては、(1)キャリア科目、(2)外国語科目、(3)接続・導入教育科目の3テーマとし、開講時期は、主に夏期集中、春・秋学期の土曜日に開講されています。

2012年度科目例

- ◆ インターンシップ入門<同志社大学>
- ◆ 英語特講A・B<京都経済短期大学>
- ◆ “大学での学び”を知る—グループワークを成功させよう—<京都文教大学>

海外研修科目

大学での学びの形態は、講義や演習だけではなくありません。本制度では、海外において一定期間の現地研修を行い、その成果を単位として認める海外研修科目も提供しています。単なる海外旅行ではなく、大学での学びの一環として、事前学習で研修先について学習し、担当教員が同行する現地研修において、事前学習で得た知識を深めるプログラムとなっています。

2012年度科目例

- ◆ 国際文化交流~五感で学ぶオーストラリアのもてなし文化~<池坊短期大学>
- ◆ インドの宗教と文化<大谷大学>
- ◆ 国際文化学部企画短期留学(オーストラリア・メルボルン)<龍谷大学>
- ◆ ボストン・サマーセッション<昭和女子大学>

コーディネート科目

現代社会が抱えるさまざまな問題を考える時、一分野からのアプローチだけでは、不十分なことは言うまでもありません。その問題について多角的な視点から捉えることが重要です。

そのような要請に応え、複数の研究者の視点や行政・企業の最前線で活躍する当事者から最新情報を学ぶ「21世紀学分野」、地元の大学ならではの京都を多角的に研究する「京都市学分野」、ICTを活用し新たな授業形態で学ぶ「eラーニング分野」など、各大学と協力して開設している科目群です。

2012年度科目例

- ◆ コミュニケーションから学ぶ英会話(高大連携)<京都外国語短期大学>
- ◆ こころのバリアフリーを考える—共に生きる社会をめざして—<同志社大学>
- ◆ 京都空間論<京都精華大学>
- ◆ エイズ—社会を映す鏡—<京都産業大学>

eラーニング科目

これまで、他大学の提供科目を履修する意欲、関心があっても、距離的・時間的な問題で利用できなかった学生にも、単位互換制度が利用できるようコンピュータネットワーク等の情報技術を用いて行う授業形態がeラーニング科目です。eラーニング科目には、「遠隔授業(遠隔地にある大学の魅力ある授業を所属大学の教室等で受講)」と「VOD授業(ビデオ・オンデマンド)」に区分され、とくにVOD授業は、それぞれの都合のよい場所で、都合のよい時間にデジタルコンテンツの授業で学習することができます。

2012年度科目例

- ◆ 情報処理技術<京都学園大学>
- ◆ 数の理解<京都光華女子大学短期大学部>
- ◆ 消費者取引と大学生<京都産業大学>
- ◆ 仏教学入門<京都文教短期大学>
- ◆ 文学作品をよむ『小倉百人一首』の世界—鑑賞と研究の違いをふまえて—<京都文教短期大学>

Q1 単位互換制度の利用条件は？

A1 「単位互換包括協定」を締結している大学に在籍する学生(大学院生を除く)なら所属大学の定める範囲において、誰でも単位互換科目を受講することができます。

Q2 受講料って必要？

A2 受講料は無料です。ただし、科目によっては、実習費や教材費が必要な場合もあります。

Q3 開講期間や授業時間ってどうなっているの？

- A3**
- 授業を受ける大学での「時間割」になります。所属大学と異なる場合があるので、登録する際には、注意が必要です。
 - 開講期間は原則として Semester 制で、前期・集中・後期・通年科目があります。
 - 夜間や土曜日・夏期集中等、多様な時間帯で開講されます。

Q4 受講科目数や単位の制限ってあるの？卒業単位として含まれるの？

A4 どの科目を合計、何科目・何単位まで受講できるのか、また卒業単位に含まれるのかは、大学によって取り扱いが異なります。単位互換制度についての質問は、所属大学の単位互換制度担当窓口(教務課や学部事務室)にお尋ねください。

Q5 京都以外の大学の授業も受講できるの？

A5 京都地域以外では、早稲田大学から夏期集中科目が提供され、長期休暇を利用して履修できます。また、昭和女子大学(東京都)から海外研修科目「ポストン・サマーセッション」が提供されています。このほか、大阪府には平安女学院大学、大阪医科大学、大阪成蹊大学芸術学部が、滋賀県には成安造形大学、立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)、龍谷大学(瀬田学舎)があります。

京カレッジとは？

1997年度より京都市と連携し、社会人の学習ニーズの高度化に
 応える生涯学習事業として「シティーカレッジ」を実施、市民教養講
 座から大学・短期大学が提供する大学の正規科目までを受講できる
 制度です。事業開始から10年以上を経て、高度化と多様化を遂げ
 てきた生涯学習を全般的にサポートすべく、さらに講座を充実させ
 て2007年度から「シティーカレッジ」を「京(みやこ)カレッジ」と名
 称を変更しました。

講座概要

京都地域の大学・短期大学による提供科目を大学講義、市民教養
 講座、キャリアアップ講座、京都力養成コースへテーマ別に構成して、
 社会人を対象とした生涯学習事業を展開しています。
 講義科目は、大学で受講するオンキャンパス科目とキャンパスブラ
 ザ京都で受講するプラザ科目に分かれています。

- ①大学講義 大学の正規科目で単位修得が可能な講座
- ②市民教養講座 健康・芸術・文化など幅広く学べる講座
- ③キャリアアップ講座 多様な語学、資格取得対策など実学が充実した講座
- ④京都力養成コース フィールドワークを交え、京都をより深く学べる講座

京都学講座について

2012年度の京都力養成コースは、8科目を開講します。8科目
 の中には、大学コンソーシアム京都から、京都学講座「平成(いま)
 を生きる京の伝統」を開講します。

京都学講座では、京都の文化、歴史が深く学べる全10回のリレー講
 義で、1講座ごとに完結する内容です。1講座ごとの受講ができます
 ので、ぜひ聴講してください。

受講料は、大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の正規学生
 (大学院生・専攻科生除く)の場合、無料です。受講当日、開講場所受
 付で学生証を提示し受付を行ってください。

会 場：キャンパスプラザ京都4階 第2講義室
 開講日時：2012年5月19日(土)～11月17日(土) 10時40分から12時10分
 講義スケジュール

開講日	講義タイトル
5月19日(土)	京舞の伝統と継承
5月26日(土)	京町家の間取りとならわし ―江戸期商家の暮らしに学ぶこと―
6月9日(土)	祇園祭の懸装品の美をさぐる
6月23日(土)	祇園祭の囃子 ―祇園囃子の構造と系譜―
7月7日(土)	日本料理の定義 ～京料理のポジション
9月8日(土)	京にいづく楽しみ「謡曲」
9月15日(土)	平成(いま)に生きる伝統の文様
10月6日(土)	庭園に生きる思い
10月20日(土)	茶の湯について
11月17日(土)	京菓子和私

大学コンソーシアム京都 単位互換包括協定大学(2012年度)

- 【国立大学】京都大学／京都教育大学／京都工芸繊維大学
 【公立大学】京都府立大学／京都府立医科大学／京都市立芸術大学
 【私立大学】池坊短期大学／大谷大学／大谷大学短期大学部／京都華頂大学／華頂短期大学／京都外国語大学／京都外国語短期大学／京都学園大学／京都経済短期大学
 ／京都光華女子大学／京都光華女子大学短期大学部／京都嵯峨芸術大学／京都嵯峨芸術大学短期大学部／京都産業大学／京都女子大学／京都精華大学／京
 都西山短期大学／京都聖母女学院短期大学／京都造形芸術大学／京都橘大学／京都ノートルダム女子大学／京都美術工芸大学／京都文教大学／京都文教短期
 大学／京都薬科大学／種智院大学／成安造形大学／成美大学／成美大学短期大学部／同志社大学／同志社女子大学／花園大学／佛教大学／平安女学院大学
 ／平安女学院大学短期大学部／明治国際医療大学／立命館大学／龍谷大学／龍谷大学短期大学部／大阪成蹊大学芸術学部／大阪医科大学／昭和女子大学／
 昭和女子大学短期大学部／早稲田大学

お問い合わせ
 連絡先

公益財団法人 大学コンソーシアム京都
 教育事業部 電話:075-353-9120
 (9:00～17:00/月曜日は休館です)

「国際文化交流～五感で学ぶオーストラリアのもてなし文化～」

池坊短期大学 小林加代子

カフェ、レストラン、アロマショップ、お花屋さん、ホテル、観光…。私たちはこうしたサービスを利用して、日々の暮らしに楽しみや新たな発見を取り入れ生活を豊かにしています。すばらしいサービスとの出会いは、消費者として楽しむだけでなく、提供者になりたいという夢へと導いてくれることもあるでしょう。

「国際文化交流」は、そうしたサービスを提供することに関心を持つ学生のみなさんを対象にした科目です。日本で受けるサービスは、海外ではどのように提供されているのでしょうか。この科目では、オーストラリアのホスピタリティ・もてなし文化を、語学だけでなく、現地の学生とともに、実習を中心に学びます。同じ夢を目標とする異なる国の学生との交流を通して、日本のサービス業のあり方を改めて見つめ直すことのできる、幅広い視野を獲得することを目標としています。

研修について

研修は、9月上旬から2週間、メルボルンに程近いジーロング市に位置するGordon Institute of TAFE(ゴードン・インスティテュートオブ・タイプ)で、アロマセラピーやお菓子づくり、フラワーアレンジメント、ファッションを実習で学びます。

1日のはじめは英語の授業から。午後の実習に必要なキーワードを学びますので、実際にそくした生きた英語が身につきます。実習では、現地の食材や植物を使い、プロとして活躍する講師陣の指導のもと、現地の学生とともに学びます。

また、観光を学ぶ現地学生が学習の一環としてガイドを務める、美しい海岸線グレート・オーシャン・ロード1日観光や、日本の伝統的なもてなし文化であるいけばなと茶の湯を、英語を交えて紹介する現地学生との交流会も行います。



参加の動機は

2011年度に履修した学生のみなさんは、参加の動機もさまざまでした。科目提供校である池坊短期大学には、ブライダルプランナーコースやファッションコーディネートコース、エステティシャンコース、製菓クリエイトコース等があり、将来の目標に対する視野を広げたいとの声が大半を占めていました。

一方、単位互換制度を利用した学生のみなさんは、日本文化を紹介することに関心がある、ホスピタリティに関わりのある職業に関心がある、あえて単位互換制度で親しい人に頼れない環境に飛び込みたかった等の動機で参加を決めたとのことでした。実習や交流会では、お互いが協力して臨むことで全体としての連帯感が育まれ、また一緒に作る体験が、現地学生とのコミュニケーションの助けとなっていました。

あなたも体験してみませんか

この科目の一番の魅力は、多くの学生と交流できることにあります。単位互換制度によって他大学生と、研修校で現地の学生と。TAFEは、制度としては日本の高等専門学校に近い高等教育機関ですが、職業教育と生涯学習に力を入れており学生も多様です。また、オーストラリアの学生はもちろん、TAFEに留学している日本人学生と意見を交換する機会を得ることもあるでしょう。

「日本での実習とは異なる方法に戸惑いもあったが日本で大切だと教えられることの本当に意味することは何かを考える機会が得られた」。「日本では発想し得なかった色彩感覚や造形を自らの作品に反映させたい」。研修後の声です。みなさんもぜひ体験してみませんか？



京都の大学「学び」フォーラム2012

2012年6月と10月に「京都の大学『学び』フォーラム」を開催します。今年も京都地域を中心とした高校生や保護者、高校の先生方を対象に京都の大学の特色ある模擬講義や体験型講座、大学の個別相談等を実施します。

例年、参加した高校生からは「大学選びの参考になった」「講義内容が非常に面白く、大学で勉強したくなった」「今後の進路に役立った」など高い評価をいただいています。

滋賀会場
龍谷大学
 瀬田キャンパス
 (JR琵琶湖線瀬田駅下車
 バス約8分)

6/10(日)
 10:00~13:45



模擬講義・体験型講座・大学相談ブース

高校生
向け

入試対策講座・カタリバ企画 **新** 高校生の心に火をつけます
 キャリアデザイン講座
 教えて先輩!-これが京都のキャンパスライフ-

保護者
向け

進学マネープラン講座・キャリアサポート講座 **新**
 キャンパスライフ紹介コーナー

高校教員
向け

2013年度 入試の概要と展望



京都会場
大谷大学
 (地下鉄北大路駅すぐ)

10/27(土)
 9:00~15:00



参加大学

京都教育大学／京都工芸繊維大学／京都市立芸術大学／池坊短期大学／大谷大学・短期大学部／
 京都華頂大学・華頂短期大学／京都医療科学大学／京都外国語大学・短期大学／京都学園大学／
 京都光華女子大学・短期大学部／京都産業大学／京都女子大学／京都精華大学／京都聖母学院短期大学／
 京都橘大学／京都ノートルダム女子大学／京都美術工芸大学／京都文教大学・京都文教短期大学／
 京都薬科大学／成美大学・短期大学部／同志社大学／同志社女子大学／花園大学／佛教大学／
 明治国際医療大学／立命館大学／龍谷大学・短期大学部／大阪医科大学

「京都ワンキャンパス」=京都全体がひとつのキャンパス

「大学のまち・学生のまち 京都」には、京都の大学の講義を受講できる「単位互換制度」や、大学を越えて学生が交流する「京都学生祭典」など、他地域にはない魅力と楽しさがあります。その魅力を全国の高校生や保護者、高校の先生方に伝えるために京都の大学・短期大学が一丸となり、「京都ワンキャンパス」として全国に広報展開しています。



京都ワンキャンパスをコンセプトにした相談ブースの様子

全国の相談会での広報

日程	都市	会場
7/7(土)	東京	東京国際フォーラム
7/22(日)	名古屋	吹上ホール
8/26(日)	大阪	グランキューブ大阪
その他	新潟・静岡・金沢・岡山・広島 高松・高知・福岡・大分(予定)	

京都での学びの魅力を紹介した冊子です。各大学で取得できる資格一覧や大学生のキャンパスライフなど、京都の大学・短期大学のさまざまな情報を掲載しています。

「京都の学びスタイル」



実践研究共同教育プログラム

高校が求める学習目標への到達に向けた正課授業プログラムを、高校教員と大学教員の両者によって共同開発し、年間を通して実践するプログラムです。単なる一過性の模擬講義・出前講義とは異なり、高校と複数大学の教員によって事前に打合せを行い、①生徒の「学び」の魅力の新たな一面の発見②生徒の高等学校の「教科」の枠を超えた学問の体験③生徒の高等教育(大学)の一部に触れる貴重な体験④「生徒」から「学生」への円滑な移行⑤高大の教員間での教授法の共有・現状の把握の実現を目指しています。

実際に授業を受けた生徒のアンケートから、「以前より授業に興味を持つようになった」「大学や、大学の学びに関心を持つようになった」など、自分の進路先としての大学や学部選択をイメージできるプログラムとなっています。



京都市立伏見工業高校プログラム「自然エネルギーを研究する」

キャリア教育プログラム

2012年度より、高大連携によるキャリア教育プログラムを実施予定です。現役大学生が高校生一人ひとりと「現在の自分」「将来の姿」について語り合い、大学生の現在に至るまでの経験を聞くことを通じて、心の中にある「やる気」を引き出し、高校生が自ら将来を考え、学習意欲を喚起するキャリア教育企画を予定しています。

高等教育研究推進事業部

FD関係事業

■ 新任教員FD合同研修

「2011年度新任教員FD合同研修」として9/17(土)、18(日)に「プログラムA」を3/10(土)、11(日)に「プログラムB」を実施しました。それぞれ32名、24名の参加者を迎え、賑やかで充実した研修となりました。今年度も引き続き9月と3月に実施予定です。



■ 京都FDe熟

大学コンソーシアム京都の加盟校においてFD活動のリーダーとなる教職員を養成するため、各大学・短大のFD委員会メンバーやFD事務担当者である教職員を主な対象としてワークショップ形式の定例勉強会を行っています。昨年度は下記の通りに開催しました。



- 11/14(月) 京都FDe熟 IR入門編 講師:立命館大学 岡田 有司氏(24名)
- 12/12(月) 京都FDe熟 IR実践編 講師:京都工芸繊維大学 内村 浩氏(21名)
- 1/21(土) 京都FDe熟 IR海外編 国際シンポジウム「IRと教育改善～オーストラリアの事例から学ぶ～」(104名)
- 1/22(日) 京都FDe熟 特別公開講座
「FDeのためのワークショップ～組織的なFDを実現するための効果的なアプローチを探る」
講師:Richard James氏
(メルボルン大高等教育研究センター)

■ 第17回FDフォーラム

第17回FDフォーラム(耳野健二企画検討委員長-京都産業大学教授)を開催しました。会場校は京都産業大学。47全都道府県から1076名(昨年は904名)(人数はいずれも申込者ベース)の参加申込みがありました。テーマは「大学におけるキャリア教育を考える～企業が求める人材って、大学で育成しないとだめ?～」以下は概要。

3月3日(土)13:00-19:00
シンポジウム(定員1050名、申込者907名)
コーディネーター:村上正行(京都外国語大学准教授)
*17:30～情報交換会(278名)
3月4日(日)10:00-15:30
ミニシンポジウム(第1～第4)、分科会(第1～第10)
詳細は下記の通り

形態・定員	テーマカテゴリ	コーディネーター
第1ミニシンポジウム (定員150名、申込者150名)	大学授業の パラダイムシフトを目指して	木野茂 (立命館大学教授)
第2ミニシンポジウム (定員150名、申込者56名)	看護系大学の卒業生に 期待する能力と教育課程	遠藤俊子 (京都橋大学教授) 伊藤恵美子 (京都橋大学准教授)
第3ミニシンポジウム (定員150名、申込者150名)	初年次導入教育における 専門的要素の位置づけ	坂井岳夫 (同志社大学助教)
第4ミニシンポジウム (定員150名、申込者150名)	わかりにくいぞ今のFD	山口博明 (京都教育大学准教授)
第1分科会 (定員45名、申込者45名)	高大連携のあり方を問い直す	村田淑子 (京都学園大学教授)
第2分科会 (定員45名、申込者45名)	ティーチングポートフォリオの 組織的導入と活用	酒井博之 (京都大学特任准教授)
第3分科会 (定員45名、申込者45名)	教養教育における科学リテラシー ～問題発見力と問題解決力の 修得を目指して～	葛城大介 (京都薬科大学准教授)
第4分科会 (定員45名、申込者45名)	災害対策と大学 ～私たちが担う役割は何か～	河原宣子 (京都橋大学教授)

第5分科会 (定員45名、申込者45名)	保・幼・小の連携における 保育者・教員養成のあり方を考える ～共通点は何か、相違点は何か～	長谷川岳史 (龍谷大学准教授) 山内清郎 (大谷大学准教授)
形態・定員	テーマカテゴリ	コーディネーター
第6分科会 (定員45名、申込者45名)	芸術・表現系大学の学生が 身につけるべき 「資質」とリテラシー	高橋伸一 (京都精華大学教授)
第7分科会 (定員45名、申込者45名)	発達障害のある学生への 組織的支援を考える	藤松素子 (佛教大学教授)
第8分科会 (定員45名、申込者45名)	学生への留学支援と 国際交流に関する試み	Robert Kritzer (京都ノートルダム女子大学教授) 服部昭郎 (京都ノートルダム女子大学教授)
第9分科会 (定員45名、申込者45名)	大学における「私語」と「沈黙」	黒宮一太 (京都文教大学講師)
第10分科会 (定員45名、申込者45名)	連携して取り組む教育改善 ～日米のコンソーシアム活動を 通じて考える～	川面きよ (大学コンソーシアム京都 専門研究員)

高等教育研究推進事業部

SD関係事業

■ 大学アドミニストレータ 研修プログラム

大学・短期大学等において大学改革を担う基幹人材としての「大学アドミニストレータ人材」を育成することを目的として実施しました。本年度は18名が受講し、全員が修了しました。



回	講義日	テーマ
0	5月14日(土)	ワークショップ「アドミニカフェ」(合宿)
1	5月15日(日)	大学の使命と戦略(合宿)
2	5月21日(土)	大学教育論
3	5月28日(土)	大学組織論
4	6月4日(土)	大学の地域貢献と大学改革
5	6月11日(土)	大学のマーケティング
6	6月18日(土)	大学幹部職員のリーダーシップとコーチング
7	6月25日(土)	大学のリスクマネジメント
8	7月2日(土)	学生の変容と大学:学生への新たなサービスの提供と評価
9	7月9日(土)	大学経営におけるIR機能
10	7月16日(土)	大学改革と財政
11	7月23日(土)	人的資源管理と職員の能力開発
12	7月30日(土)	大学教育改革のための大学経営論

プレゼンテーション・修了式:2011年9月10日(土)・11日(日)

■ 第9回SDフォーラム

SD分野で関心の高まっている分野について基調講演を行うとともに分科会・交流会を開催し、先進的な取り組みを行っている大学等より事例報告および意見交換を行います。最終的には参加者のSD能力および関心の高まりを目指します。本年度は実参加者数173名を得ました。



【日時】2011年10月23日(日)10:00～17:15

【テーマ】「大学職員のキャリアデザイン」

【会場】キャンパスプラザ京都

	基調講演	講師
	大学職員のキャリア形成を大学運営に活かす	秦 敬治 (愛媛大学教育企画室副室長教授)
	分科会	講師
A	大学院での学びを活かす 職員の自律的キャリア形成と 「教育支援力」強化について	高橋 真義 (桜美林大学大学院 アドミニストレーション研究科教授)
B	大規模大学の先進事例	平野 誠 (関西大学総務局次長)
C	中小規模大学の先進事例	山崎 学 (大谷大学総務部事務部長)
D	大学職員の組織間キャリア ～中途採用者をいかに活用するか	三輪 卓己 (京都産業大学准教授)

E	先進的企業のケーススタディ ～自立的キャリア開発と 次世代経営幹部の育成～	六車 忠裕 (日東電工株式会社)
F	大学職員のキャリア形成を 大学活性化に繋げる	倉部 史記 (株式会社アドミッションズオフィス)

■ ワークショップ型研修

知識を一方向的に伝達する従来型の研修では得られない、現場での問題解決の知識をOJT的に学び、かつ大学間の人的ネットワークを形成する場の提供を目指して業務分野別に実施しました。11月26日(土)から12月17日(土)にかけて計4回のワークショップ型研修を行いました。



調査・研究代表者	調査・研究テーマ
斎藤 真緒 (立命館大学産業社会学部・准教授)	家族介護者の仕事と介護が折り合う環境 (ワーク・ケア・ライフ・バランス)の実現に向けた ニーズ分析と支援策の課題
高島 知佐子 (京都外国語大学外国語学部・講師)	伝統芸能における 市民参加型の活動に関する研究
波多野 佑美 (京都大学大学院農学研究科・修士課程)	京都市における食品リサイクルの経済・環境評価
水上 象吾 (佛光大学社会学部・講師)	路地の鉢植えのあふれだしによる市民の育む緑 ～緑視率と地域コミュニティ向上の検証～

2012年度の調査・研究の募集は、4月中旬ごろを予定しております。ご興味のある方は、是非当財団ホームページをご覧ください。

高等教育研究推進事業部

都市政策研究推進事業

■ 第7回政策系大学・大学院研究交流大会 「京都から発信する都市政策」

本大会は京都の政策系の学部・研究科を持つ大学が中心となり、学部生・大学院生の研究発表の場を設け、日頃の研究や学習成果の発表を通じて交流を深めることを目的として実施しています。第7回目をむかえた本大会は、新たに指定質問者・ベスト質問賞の制度を設けるなどより広範な研究交流の場となりました。また、本大会の学生実行委員が企画・実施した学生企画では「防災から考える若者の地域参加～3.11大震災を受けて～」のテーマで防災の専門家による講演とワークショップを行い京都で起こり得る災害や若者の地域参加について考える場となりました。

【日時・場所】2011年12月4日(日) 10:00～19:30 キャンパスプラザ京都
【発表数】77組(口頭50、パネル24、行政パネル展示3)

【プログラム内容】口頭発表・パネル発表・学生企画・懇親会・表彰式

*学生企画講演者

水田哲生氏

(公益財団法人 大学コンソーシアム京都 シンクタンク事業プロジェクトマネージャー)

【参加者数】410名

【受賞者】18名

受賞テーマ TOYOTA車リコールからみるNHTSAリコール意思
決定の課題—プロスペクト理論からのアプローチ—
外17件



高等教育研究推進事業部

大学地域連携モデル創造支援事業

■ 学まちコラボ事業

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」に基づき、京都市と協働で、大学と地域が連携して行う取組に対し、助成金を交付する事業です。大学にとっては実践的な教育・研究機会の確保による人材育成、地域にとっては学生の活力による地域活性化・地域の課題解決を図ることを目的として取り組みました。採択8件/応募15件

採択事業名	団体名【大学】
よう北野まつり	特定非営利活動法人 よう北野まつり 【佛光大学】
ものづくり・こづくり ルネサンスプロジェクト	京都造形芸術大学 近代産業遺産アート再生プロジェクト【まか通V】
都ライト	都ライト実行委員会 【京都精華大学、京都造形芸術大学、 立命館大学、京都教育大学】
嵐山・七夕文化のまちづくり	嵐山商店街【京都嵯峨芸術大学】
自主防災の定着を目指して ～子どもの防災の第一歩～	京都橘大学 救急救命研究会-TURF-
みんなで作った構口公園・ “わんぱく広場”化大作戦	梅津まちづくり委員会【立命館大学】
大宮防災と福祉の まちづくり推進プロジェクト	大宮防災と福祉のまちづくり応援隊 【佛光大学】
上賀茂神社観月祭における 京ねぶた計画と葵ねぶたワークショップ	京都造形芸術大学 芸術教養教育センター マンデイプロジェクト

高等教育研究推進事業部

国際連携事業

■ 短期留学プログラム開発

*2012年度プログラム広報・説明会進行中

平成21年度「戦略的国際連携支援事業」に採択された「多面的な国際交流の充実と高等教育の質向上に向けた国際連携プログラム開発」(代表校:龍谷大学)により、複数大学間の国際交流に取り組んでいます。留学プログラム開発においては、単位互換制度を利用し、単位互換協定参加大学の学生誰もが参加できる海外研修プログラムを実施しました。2011年度に実施したプログラムは以下3件です。

プログラム名	開講大学	派遣先・派遣日程	人数
ポストン・サマーセッション	昭和女子大学	昭和女子大学(ポストン) 8月15日～9月13日	6名
龍谷大学国際化学部 企画短期留学 (オーストラリア・メルボルン)	龍谷大学	Deakin University English Language Institute(メルボルン) 2月16日～3月18日	12名
国際文化交流 ～五感で学ぶオーストラリアの もてなし文化～	池坊短期大学	Gordon Institute of TAFE (メルボルン) 9月3日～9月17日	13名

■ 教職員交流・研修プログラム開発/国際指標等調査・研究

国際的な教育環境の整備と国際的な教育評価基準の調査を目的とした教職員交流・研修プログラム/国際指標等調査・研究にあつては、教職員の海外連携先の協力を得て、次の3件のプログラム並びに4件のシンポジウム・勉強会等を実施しました。特にMUELC職員対象海外研修プログラムでは、大学コンソーシアム京都加盟大学を中心とする各大学から7名の参加があり、国際業務を行うにあつて必要となる語学力や異文化コミュニケーション能力を磨きました。

プログラム名	派遣先/実施場所	実施期間	人数
MUELC職員対象 海外研修プログラム (事務職員対象)	Monash University English Language Centre (メルボルン)	8月16日～9月10日	7名
Teaching & Learning Conference (教員対象)	COF(ポストン)	10月27日～10月28日	3名
	Deakin University (メルボルン)	11月2日～11月3日	2名
Shadowing Program (事務職員対象)	Deakin University (メルボルン)	2月20日～2月24日	2名
		3月12日～3月16日	2名
アメリカの大学教育事情に 関するワークショップ	キャンパスプラザ京都	7月15日～7月16日	30名
オーストラリアにおける 高等教育の質保証に 関する勉強会	キャンパスプラザ京都	7月19日	15名
国際シンポジウム (オーストラリア)	大谷大学メディアホール	1月22日	104名
国際シンポジウム (ポストン)	京都産業大学	3月4日	42名

高等教育研究推進事業部

シンクタンク事業(未来の京都創造研究事業)

■ 未来の京都創造研究事業

未来の京都を創造するための調査・研究を大学の若手研究者から広く募集し、京都市の担当部署と協同して調査・研究を進める事業であり、最終成果は京都市の政策や事業に反映させることを目指しています。2011年度は、以下のとおり4件の調査・研究を行いました。

第15回京都国際学生映画祭

今年で第15回を迎える京都国際学生映画祭は学生が主体となり運営を行なっている日本最大規模の国際学生映画祭です。日本国内はもちろん世界中の学生から映画を募集・審査し、入選作品を上映するコンペティションプログラムを中心としており、その他にもさまざまな特別企画や連携企画を開催しております。映画のジャンルや国籍、年齢を超えた交流の場となることを目指しています。みなさまのご来場をお待ちしております。



新規実行委員募集

第15回京都国際学生映画祭では新規実行委員を随時募集しております。参加の動機は様々です。

- 「大学生活でなにかをやり遂げたい」
- 「みんなで一緒に企画を作り上げたい」
- 「写真・デザイン・webに携わりたい」
- 「国際交流をしてみたい。語学能力をいかしたい」

どれかひとつでも当てはまるなら一度見学に来てみませんか?主にキャンパスプラザ京都にて、週に一回程度の会議をおこなっております。ぜひ一度会議まで足をお運びください。実行委員参加のご連絡・質問はこちらまで。

→ recruit@kisfvf.com

THE LAST TIME REPORT

第14回京都国際学生映画祭は「出逢い」をテーマとして掲げ、今後の人生につながるような「出逢い」となるように、工夫しながら運営してきました。学生が企画した様々なプログラムをとおして、制作者同士や観客との交流の場を数多く設け、互いに触れ合えるようなプログラムを実施することができました。

- 【開催日時】2011年11月19日(土)～11月26日(土)
- 【開催場所】11月19日(土)～11月25日(金):京都シネマ
11月26日(土):京都府京都文化博物館 フィルムシアター(授賞式)
- 【来場者数】569名
- 【実行委員数】22名(10大学+1専修学校)

／コンペティションプログラム(応募作品247本中、入選作品15本を上映)

短編部門グランプリ 『グレンマアの話』 監督 佐久川満月(日本)

長編部門グランプリ 『TWIST & BLOOD』 監督 Kuba Czekaj(ポーランド)

／企画

- ◆ 廣原暁凱旋上映『紙風船』
- ◆ 関西学生映像イズム(『短編作家 出逢い篇』『学生団体 対話篇』『学生作家 回顧篇』)
- ◆ “Listen”to Film(映画音楽企画)
- ◆ 第23回東京学生映画祭グランプリ作品『デリバリーファッションヘルス』上映
- ◆ 最終審査員作品上映
- ◆ 高校生作品上映
- ◆ ワールドセレクションプログラム～ある“生”～ある“死”を探して～
- ◆ 学校では教えてくれない作家処世術～ブリート・バルン氏に学ぶ～
- ◆ Kara-S企画(交流スペース)

京都学生芸術普及事業 (ArtsBar2011)

京都学生芸術普及事業は、学生が主体となり京都地域に集積している11の芸術系大学の展覧会情報を中心とした共同広報を行いました。各芸術系大学の展覧会情報を集め、取材、記事の作成、blog・twitter・facebookといった新しいメディアを活用した広報を行いました。

学生実行委員会の主体的な活動をとおして、社会人基礎力(チームで働くこと、コミュニケーション力)を獲得していきます。



『想いと未来の「糸」を紡ぐ』

第10回京都学生祭典実行委員会(2012年度)
実行委員長 向島 翔也(龍谷大学文学部 3年生)

「大学生になったら、何かデッカイことしてみたいなあー!」
中学・高校と部活動に明け暮れていた私は、大学に進学したら絶対に大学生にしかなれないことをしてやる!という気持ちでいっぱい。そんな中、友達の紹介がきっかけとなって知ったのが「京都学生祭典」でした。

行政・大学・経済界・地域のAll京都の支援のもとで20万人が来る「市民祭り」を、1500人ものが中心となって創り上げていく…!それぞれの学生が所属する部署ごとで互いに切磋琢磨し合っ、周りの方々の支えを受けながら「祭りの成功」に向けて一丸となっていく。私は実行委員説明会で聞いた規模の大きさに感動し、その場で「実行委員やろうっ!」とすぐに決めました。(笑)

京都学生祭典でしか学べないことはたくさんあります!例えば、仲間と共に1つのものを創り上げる面白さや社会と触れ合う事で体験できるビジネスマナーや行儀など、普段の学生生活ではなかなか得ることのない貴重な経験が出来ます。1年間個々の立場や役割をこなしていく中で意見がぶつかることもあれば思いっきり笑い合うこともあり、祭りが終わった後には仲間たちと一緒に泣いて感動を分かち合う。私は全国でも例を見ない活動に関わっていることに自信と誇りを感じています!

もっといろんな人々と繋がっていきたい!祭りを通して共に感動を分かち合いたい!いつしか私の中ではそのような気持ちが芽生えていました。自分が実行委員長として京都学生祭典を創り上げていきたいと決心した原点はそこにあります。

第10回京都学生祭典は『想いと未来の「糸」を紡ぐ』というコンセプトを掲げ、1年の中で多くの人々と深く密接に関係を構築することで、全員の想いを一本の共感という「糸」として紡いでいこう!未来に繋がるように太く丈夫な「糸」を架けていこう!そのような意味を込めて、記念すべき第10回を10年間の集大成の年であると同時に、次の未来を見据えた新たな始まりの年にしたいと考えています。大いに期待して下さい!!





第10回京都学生祭典

公式ホームページ <http://www.kyoto-gakuseisaiten.com/>

高等教育のグローバル化や教育の質の向上が叫ばれるなか、正課の教育プログラムのみならず、学生がプロジェクト活動をとおして、多種多様な社会人や地域の人々との交流、それらを通した様々な気付きや学びを得ることが重要視されるようになってきています。

京都学生祭典はプロジェクト方式で行われており、既に学生は多くの気付きや学びのチャンスを手に入れている状況です。これらのチャンスをうまく活用し、各大学で行われているPBL(Project-Based Learning)に見られるように、「社会人基礎力(経済産業省)」や「就業力(文部科学省)」の獲得に向け、「学びの側面から学生の成長」を支え、「大学のまち京都」をリードする学生を育成していきます。さらにはこれらを行政、経済界、大学界や地域と協働で取り組むことによって、各界への互恵的効果も発揮していきます。



THE LAST TIME

REPORT

第9回京都学生祭典本祭

【日時・場所】 2011年10月9日(日) 11:00~20:15
平安神宮・岡崎公園一帯

【来場者数】 188,800人

【スタッフ数】 実行委員数:48大学 3大学院 4専修学校 計770名
おどり手数:19大学 3大学院 2専修学校 計875名
担 ぎ 手 数:14大学 3大学院 2専修学校 計67名

京都精華大学

本学は1968年に「自由自治・国際主義・凝集主義」を教育理念に掲げて短期大学として開学。1973年のマンガクラス開設にはじまり、既存の枠組みにとらわれることなく、常に新しい大学の創造を追求してきました。1979年に4年制大学を開設した後、2006年には「表現の大学」として芸術学部、デザイン学部、マンガ学部、人文学部の4学部構成となりました。

そして、2013年4月には5番目の学部となるポピュラーカルチャー学部を開設し、音楽とファッション領域の教育と研究を開始します。

